

☆定 年 退 官☆

◇第5部 坪井善勝教授

本年3月末日をもって定年退官された。同教授は昭和7年東大工学部建築学科を卒業後、大学院に進まれ、九大助教授を経て、昭和17年東大第二工学部の開設とともに同教授に任命され、建築学第二講座（構造力学）を担当された。昭和24年生産技術研究所への移行にともない第5部教授として研究と教育に専念された。同教授は、厚生委員長、部主任などを歴任されたほか、大学院数物系委員、運動部・剣道部長をつとめられるなど、本所・本学の運営面にも貢献された。

教授は建築構造学を専攻され、平面応力、平面板、曲面板（シェル）理論の研究では、わが国での先駆的役割

を果たされ、また、平面板による壁式構造、シェル屋根構造、つり屋根構造などの新しい建築構造を開拓された。東京オリンピック水泳競技場のつり屋根は坪井教授の構造設計によるもので、画期的な試みとして世界的注視を集めたことは記憶に新しい。

坪井教授は現在も国際シェル構造学会執行委員としてわが国を代表されており、また日本建築学会会長として、わが国の建築技術の発展に尽力されておられる。

☆海 外 渡 航☆

◇第2部 水町長生教授はアメリカ、およびヨーロッパ各国（イギリス、フランス、イタリア、スイス、西ドイツ）において、ガスタービン工学に関する研究のため3月10日出発し、6月9日帰国の予定。

表 紙

昭和42年度に設置された大型振動台のアクチュエータ（出力20t）から見たところで、砂箱の寸法は長さ10m、深さ4m、幅2mである
(本文 23 ページ参照)

巻 頭 言

藤高周平先生を悼む..... 森 脇 義 雄... 1
河 村 達 雄

研 究 解 説

電力系統の雷害防止..... 麻 生 忠 雄... 2
——藤高周平教授の研究業績の一端——
河 村 達 雄

VHF 帯円偏波発生十字スロットアンテナ..... 長 谷 部 望... 11
——突起部を持たない円偏波発生用の超高周波アンテナ——

高層および地下建築物の防煙対策..... 星 野 昌 一... 18
岡 山 藤 達 之 助
後 藤 誠 二

杭基礎をもつ建造物の耐震性..... 久 佐 慶 三 郎... 23
藤 保 暢 彦

解析写真測量における Multiplets Method について..... 中 村 英 夫... 31
村 井 俊 治

研 究 速 報

高速度ブラウン管のパルス強力加速..... 藤 高 周 平... 39
麻 生 忠 雄

MOS 形 FET を用いた緩衝増幅回路..... 森 脇 義 雄... 41
高 羽 禎 雄
西 森 武 弘

風船の破裂音による残響時間の測定..... 石 井 聖 光... 43
平 野 聖 興 彦

エネルギー法とマトリクス法の併用による複雑な弾性平板の座屈問題解析の
一手法について..... 川 井 忠 彦... 46
大 坪 英 臣

研 究 室 紹 介

森脇研究室..... 森 脇 義 雄... 48

生研ニュース..... 表 2, 表 3